

研究課題名

血液透析患者において、Nutritional risk index for Japanese hemodialysis patients (NRI-JH)は Protein-energy wasting (PEW)の診断と生命予後推定に有効か？

研究グループ

研究責任者：矢島 隆宏（松波総合病院 腎臓内科）

研究の目的および概要

慢性維持透析患者さんにおいては、筋肉量および脂肪量の消耗性低下により定義される Protein-energy wasting(PEW)という栄養障害がしばしば認められます。PEW は、血清アルブミン、体格指数(BMI)、体表面積で補正した血清クレアチニン値、蛋白異化率(nPCR)にて国際的に診断される。一方で、近年、日本人に特有の簡便に計算可能な新しい栄養評価指標(nutritional risk index for Japanese hemodialysis patients: NRI-JH、アルブミン、BMI、総コレステロール、クレアチニンより年齢と性別を考慮してスコアリング)が提唱されました。現状、NRI-JH は国際的な栄養評価基準との相互関係が評価されていません。そこで、PEW の診断基準と NRI-JH の関係、さらに、両者の全死亡予測能について、検証します。

研究の対象と方法

この研究では、 2008 年 4 月から 2021 年 3 月の間に当院にて外来維持透析中の患者さんを対象とします。PEW のスコアと NRI-JH との相関関係を評価します。PEW スコア 3 点以上で、PEW と診断した時の至適 NRI-JH のカットオフ値を ROC 解析を用いて求めます。このカットオフ値で、透析患者さんを 2 群に分け、カプランマイヤー法による生存曲線、Cox 解析にて生存解析を行います。最後に、全死亡の予測能を C-index (ROC 下面積)にて求めて PEW スコアと NRI-JH と比較します。

検査データやカルテに含まれる情報をこの研究に使用する際には、個人の氏名の代わりに研究用の番号をつけて取り扱います。また、カルテを閲覧する研究者は最小限とします。研究用の番号がどなたのものであるかを示す対応表のファイルは、パスワードをつけて病院内のインターネットに接続できないコンピュータに保管し、研究終了後 5 年間保存後廃棄します。研究成果の発表に際し、個人が特定できるような情報が公開されることはありません。

利用する情報の項目

カルテ情報：診療記録と検査データ、全死亡や心血管イベントの発症時期

利用するものの範囲

矢島 隆宏

連絡先

松波総合病院

腎臓内科

矢島隆宏

TEL: 058 388 0111 代

FAX: 058 388 4711